

# 明日の家族を考える会 会報



・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀絃一 ・事務局長 中村厚子  
・発行責任者・編集人 羽賀絃一 ・毎月1回発行  
・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011  
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

第17号

2010年10月

## 10月度幹事会

○日時 2010.10.28(木)

19:00~21:30

○場所 中村邸

○出席者確認(敬称略) 大脇、河村、中村、羽賀、榎本、山本、以上6名

○配布資料 会報第16号(2010年9月)

○報告事項

\*事務局報告・中村事務局長

1) 5周年記念事業の報告

2010年9月26日(日)に開催、参加者(大人67名、子ども56名、計123名)で楽しい催しであった。

2) ウィザスあしや協議会報告(10月1日に開催)

今年度のウィザスフェスタの日程の確定、詳細は今後決定する。

・2011年3月6日(日) 午前:バザー、午後:合同事業

・2011年3月7日(月)~12日(土)をフェスタ週間と位置づける。この1週間に各グループのイベントやワークショップを開催する。

・当会(WNW)のイベントとして、3月8日(火)13:30~15:30、第10回公開学習会(中国少数民族シリーズ、講師:羽賀会員)を申請する予定



満開の金木犀(キンモクセイ)

\*会計報告・河村担当

5周年記念事業の会計報告を了承

\*HP報告・大脇担当

11月中に懸案の動画を掲載する予定

\*カルガモ・バンビグループ・まちの寺子屋報告

1) カルガモ、バンビグループの合同イベントを前田集会所で行う予定、日程は、2010年12月14日(火)のクリスマス会か、2011年1月25日(火)の新年会にするか検討中である。

2) まちの寺子屋シリーズ

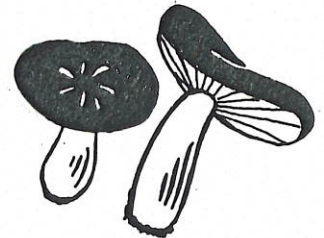
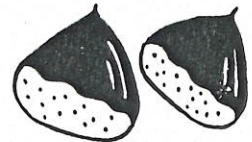
12月17日(金)15:30~はクリスマスとして行う。



○審議事項

例年通り忘年会を兼ねて12月例会を開催する。(ボランティア感謝の集いは中止)。

- ・日時 2010年12月2日(木)の夜、
- ・場所 ホテル竹園、で進めることを了承。



○卓話 新シリーズ「私の健康法」 羽賀会員

4つの着眼点：①運動、②食事、③睡眠・休養、④頭脳

年間4回(3月、6月、11月、12月)のフルマラソン参加のための本格的な準備は2ヶ月前からされている。

毎日の生活は、早寝・早起き、朝のランニング、和食中心の食事(黒酢、レンコン、マイタケ、ゴマ、納豆、豆乳、オリーブ油、梅干しを欠かさない)、酒、タバコはたしなまない。

規則正しい日常に加えて、現役としてキャリア教育に従事されていることなどを伺い、感銘しました。



羽賀さん



河村さん



山本さん

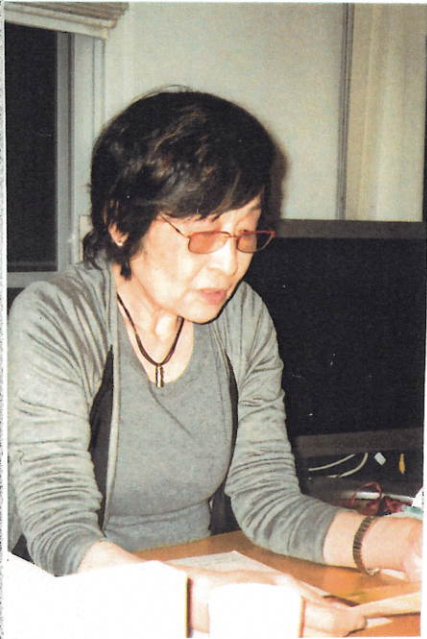
仕事は、常に同じ時間で3倍の効果があがるように考えてされておられるとのことでした。毎月の会報が出来上がるスピードの秘密が理解出来ました。

このような日常に加えて「中国少数民族シリーズ」の取材旅行は、入るのですね・・・。

○次回幹事会

2010年11月25日(木) 19:00～ 中村邸

次回の卓話は中村会員の予定



中村さん



榎本さん



大脇さん

○10月の子育て支援活動

**\*カルガモクラブ** 河村さん担当

第2・第4木曜日10:00～11:30

西蔵集会所

0歳～よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。子育て仲間を作って育児を楽しみます。

10月14日(木)は、**7組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、辻原さん、徳田さん

10月28日(木)は、**2組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、辻原さん、徳田さん



# \*バンビグループ・・・河村さん担当

第2・第4火曜日10:00~11:30 打出集会所

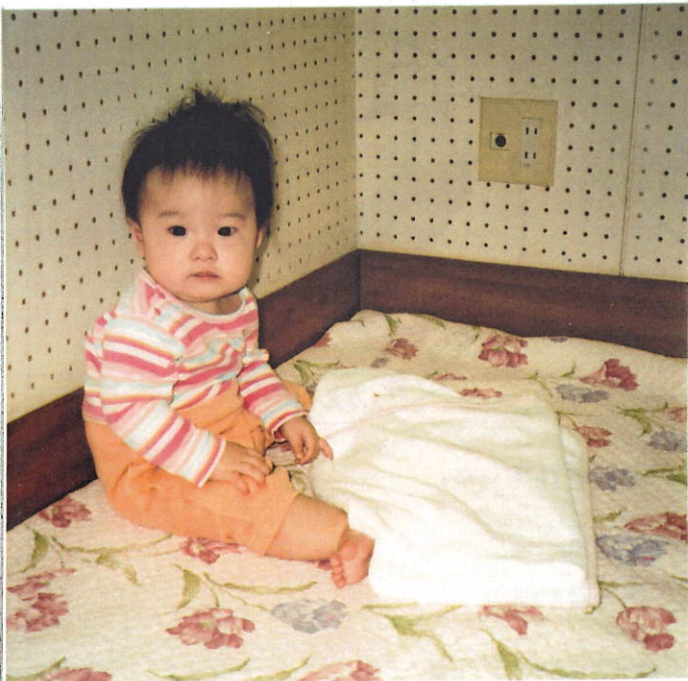
1歳~3歳の親子が対象

10月12日(火)は、**14組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、曾我部さん、徳田さん

10月26日(火)は、**16組の親子**が参加されました。内3組はカルガモ

クラブの親子でした。参加ボランティアは、徳田さん



河村さんの 紙芝居



## 県民交流広場事業



10月22日(金) 15:30~17:00 前田集会所にて

今日は子どもたち9人(男の子6名、女の子3名)の参加があり、読書、紙芝居などを楽しんだ。そして幼稚園児はストローの紙トンボ作り、小学生はぶんぶんコマ作りに挑戦した。最初は出来ない、出来ないと言っていた子どもたちだったが、何度も繰り返して、出来るようになると、やったーという満足感で満面の笑顔を見せて喜んだ。ボランティアは正会員は河村さん、安生さん、そして河村さんのご主人にもお手伝いいただきました。

まちの寺子屋は、幼稚園児、小学生を対象に毎月第4金曜日、15:30~17:00に前田集会所(前田町8-17)で開設しています。絵本の読み聞かせ、読書、紙芝居、いろいろなおもちゃ作りなどをして楽しく遊んでいます。



前田集会所



# ○ 小中学生の自然離れくつきり

## 虫取り・川遊びの体験激減

チョウチョやトンボ、バッタなどの昆虫を捕まえる。海や川で泳ぐ。そんな自然体験をした小中学生の割合が、この10年で20ポイントも減ったという結果が先日公表された。これは、国立青少年教育振興機構の調査でわかったもので、子どもの自然離れが改めて裏付けられた形である。

今年1~2月、全国の公立小中学校、高校から計900校を抽出して調査。約1万8,800人から回答を得た。

小中学生で「チョウチョやトンボ、バッタなどの捕まえたこと」が「何度もある」か「少しある」と答えた割合は2009年度は59%で2005年度に比べ6ポイント減少。1998年度に比べ22%減であった。

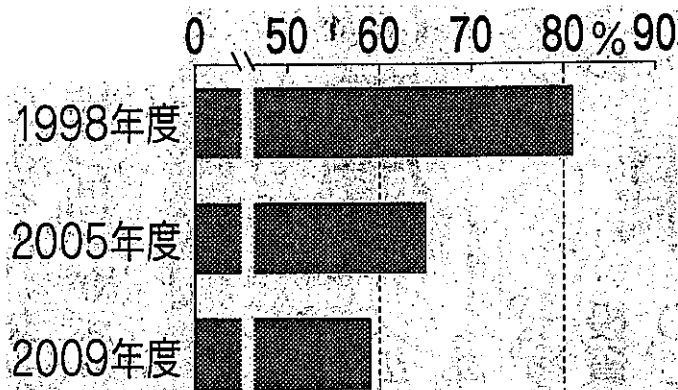
「海や川で泳いだ」は、2009年度は70%で2005年度に比べ4ポイント減、2008年度と比べると20ポイントも減った。

調査に携わった明石要一・千葉大教授によると、「自然体験の減少は、塾や習い事をする子が増えたためと見られる。親のしつけに対する意識の高まりから手伝いをする割合は伸びているが、もっと外遊びの機会を確保すべきだ」と話している。

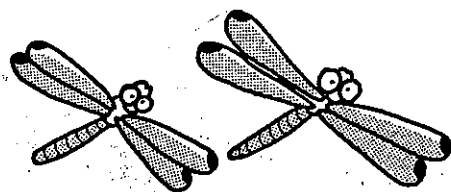
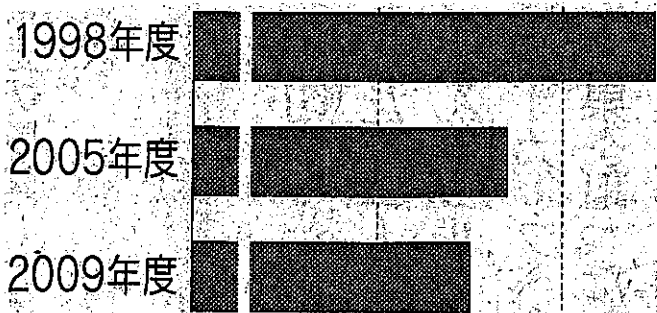
### 小中学生の自然体験

(何度もある」と「少しある」の合計)

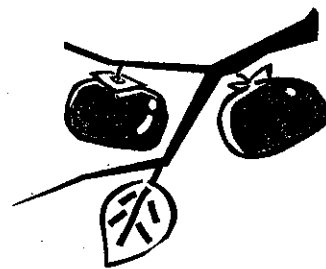
◎チョウチョやトンボ、バッタを捕まえたことがある



◎海や川で泳いだことがある



=知っておきたい知識=



## 2010年度学校基本調査の概要

8月に文部科学省が出した速報を見ると、今春卒業した大学生で就職も大学院進学もしなかった人が約87,000人いて、前年度と比較すると28.3%も増加した。これは世界同時不況の影響で企業が採用を絞ったため就職をあきらめた大学生が多かったためと思われる。

大卒者は約54万1千人。うち就職したのは約32万9千人で就職率は60.8%で2年連続低下した。一方、大学院への進学者は約7万3千人で進学率は上昇した。また、フリーターやニートは大幅に増えた。

小中不登校者は2年連続減少しており、スクールカウンセラーを増やした成果が出ていると思われるが、依然として12万人を越える不登校者がいることは深刻である。

### ○在学者数

小学校	699万3000人	(前年度比1.0%減)
中学校	355万8000人	(前年度比1.2%減)
高校	336万9000人	(前年度比0.6%増)
大学	255万9000人	(前年度比1.3%増)

### ○進学率

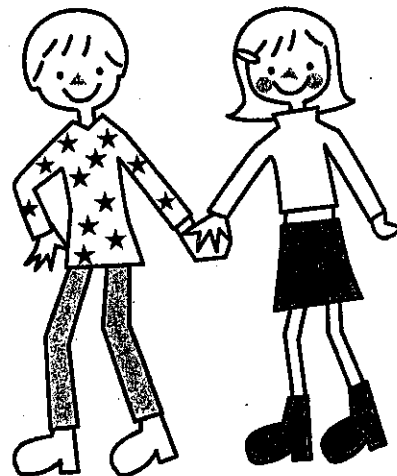
高校	98.0%	(0.1ポイント上昇)
大学	50.9%	(0.7ポイント上昇)

### ○不登校

小中学校 12万2000人 (3.4%減)・・・2年連続減少

### ○大卒後の状況

就職	32万9000人	(14.0%減)
フリーター	1万9000人	(48.7%増)
ニート	8万2000人	(28.3%増)



### 編集後記

先日「免疫と長生き」というテーマで医学博士の講演会があった。その中での話であるが、フィンランドで45～50歳の1,200人を2グループに分け、1つのグループには健康管理をキチンとしてもらい、年2回の健診を義務づけ、タバコは禁止、酒はほどほどにし、10年間追跡調査した。もう一方のグループは奔放な生活をしてもらい、酒もタバコも制限せず、好きなだけ楽しんでもらった。その結果、健康管理を厳しくしたグループは10年後、15人が亡くなっていた。その内3分の1ほどは自殺であった。何故かと推察すると、「健康を徹底管理され、ストイックな生活を強いられて、精神的なストレスが増加したためだ」考えられるという。ストレスが身体の免疫の働きに悪影響を及ぼしたのだという。免疫力を高めるためにはストレスを引きずらないことが必要で、節制しすぎは逆効果になることもあるので注意が必要とのこと、そしてよく笑うことが免疫力アップに効果が大きいとのことであった。私たちが大いに参考にして実行しましょう。

(羽賀)